

科目名	看護情報学	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	東 ますみ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データと情報と知識の関係を理解し、看護実践への情報活用について考えることができる。 2. 医療で取り扱う個人情報について理解できる。 3. 遠隔看護の現状や実用化に向けた課題について理解し、発展させるための方略を考えることができる。 <p>[授業概要]</p> <p>看護師免許を持つ教員が、以下の授業概要が理解できるように講義する。 安全で質の高い看護を実践するため、また、チーム医療において情報は必要不可欠である。看護情報学は、1980年に初めて定義された新しい学問であり、医療機関における電子カルテの導入や、地域医療連携における患者情報のネットワーク化、遠隔医療・遠隔看護の推進など、看護を取り巻く情報システムの変化は著しい。本講義では、看護情報学の定義の変遷、看護の臨床現場における情報活用の概要、情報倫理と医療で取り扱う個人情報の特徴、医療情報システムの種類と役割、遠隔医療や遠隔看護の国内外における実践例、看護用語の標準化への取り組みについて学ぶことで、看護の質や効率、安全性を高めるための看護情報学について理解を深める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>これまで講義や実習で学んできた看護に、情報がどのように活用されていたか復習しておくこと。また、情報通信技術の医療への活用について、日頃からニュースに関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護情報学の専門性を理解し、看護実践への情報の活用について概要を知る。(12月10日火曜日)3限 2. 看護情報学を取り扱うために必要となる、コンピュータリテラシーや情報リテラシーを習得するための基礎的知識や考え方を理解する。(12月10日火曜日)4限 3. データと情報と知識の関係を知り、看護で取り扱う情報の特徴や活用について理解する。(12月13日金曜日)3限 4. 情報倫理の概念を理解し、医療で取り扱う個人情報の特徴や個人情報保護法の要点と関連するガイドライン、倫理指針について理解する。(12月13日金曜日)4限 5. 海外における看護への情報通信技術の導入と活用の可能性を学び、遠隔医療・遠隔看護の現状や実用化に向けた課題について理解する。(12月17日火曜日)3限 6. 医療情報システムの種類と役割を理解する。また、看護用語の標準化の取り組みとして、NANDA、ICNPの概要を知り、分類体系の目的と利用方法について理解する。(12月17日火曜日)4限 7. 看護の質と効率、安全性を高めるための、看護情報学の発展について検討する。(12月18日水曜日)2限 8. 試験(12月20日金曜日)1限 <p>教室 F210</p>			

科目名	看護情報学	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	東 ますみ		
<p>[成績評価方法]</p> <p>試験(80%)、レポート課題(10%)、授業への取組(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後に解答の解説を行う。レポートは後日総評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-2/(科学的根拠に基づいた課題対応能力)人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験、レポート課題、グループワーク等での発言内容や取り組み態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-1/(人間性の涵養)多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:試験、レポート課題、グループワーク等での発言内容や取り組み態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-1/(社会参加)社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探求していける。 成績評価方法:試験、レポート課題、グループワーク等での発言内容や取り組み態度</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験、レポート課題、グループワーク等での発言内容や取り組み態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、レポート課題、グループワーク等での発言内容や取り組み態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験、レポート課題、グループワーク等での発言内容や取り組み態度</p> <p>[教科書(ISBN)] 「エッセンシャル 看護情報学 2024年版」 著者名:太田勝正・前田樹海編著 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-71067-8) 適宜プリントを配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 必要に応じて適宜紹介する。</p>			